

第六段階：イエスの後期ユダヤ教宣教

B. 仮庵の祭りにおけるイエスの宣教

2. 姦淫の罪を犯した女性をイエスが赦す

ii. イエスは女性を赦し、変える

ヨハネ8章9-11節

9 これを聞いた人々は、年長者から順に一人ずつ立ち去り、ついにはイエスと、そこに立ったままの女だけが残った。

10 イエスは立ち上がって彼女に尋ねた。 **「女よ、彼らはどこにいる？誰もあなたを非難しなかったのか？」**

11 「誰もいません」 彼女は言った。

「それなら私もあなたを非難しません」 イエスは宣言しました。 **「私はあなたに、今すぐ行って罪深い生活から永久に離れるよう命じます。」**

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルカ = ^L、ヨハネ = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、**赤いイタリック体はイエスの言葉を示します**。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

| コンテキストダイジェスト | |
|--------------|----------------------|
| 位置 | エルサレムの神殿の庭 |
| タイムライン | 9月 (31月) |
| イエスの生涯の文脈 | 第六段階：イエスの後期ユダヤ教宣教 |
| | B. 仮庵の祭りにおけるイエスの宣教 |
| | 2. 姦淫の罪を犯した女性をイエスが赦す |
| タイトル | ii. イエスは女性を赦し、変える |

コメント：

今日の短い朗読は、この出来事の二つ目の重要な点を示しています。イエスは、この女性の裁判官としての権威を、彼女を裁くためではなく、慈しみ深く赦し、変えてくださるために用いられました。

デイリー・ジーザス・ニュース #150

イエスは、姦淫の罪のためにこの女性に最初の石を投げつけ、そしてその後もあらゆる石を投げつける権利を持っていました。彼女に裁きを下す権利も十分に持っていました。しかし、そうする代わりに、イエスは間もなく彼女の代わりに死刑を受け、彼女がすべての罪の裁きから解放されるよう、彼女の代わりに死ぬことになっていました。ですから、イエスは彼女を裁く権限を持っていたのと同様に、彼女を赦し、すべての罪から清める権利も持っていたのです。

意地悪な男たちが石を拾い上げて彼女を殺そうとしたとき、この女性は姦淫の罪を悔い改め、神との和解を求めたに違いありません。彼女は、神が御子イエスを通してそれを成し遂げたことを知り、衝撃を受けました。

告発された女性は自分の行いを取り消すことはできませんでしたが、イエスはそれを永遠に消し去ることができました。イエスは赦しを通して私たちの罪を取り除き、神の前に完全に正しい立場に置くことができます。これが「罪に定められない」という意味です。これがイエスが彼女に与えた賜物でした。しかし、それで終わりではありませんでした。

イエスはまた、**「罪を犯すのをやめよ」とも言われました。**イエスは、彼女が将来いかなる罪も犯してはならないという意味ではありませんでした。それは不可能だったでしょう。イエスが言いたかったのは、姦淫という罪を永遠に捨て去る必要があるという意味だったのです。

彼女はきっと既にその決断を下していたのだろう。きつこう祈ったのだろう。「神様、このひどい罪人である私に慈悲をお与えください。もし私がこの苦しみから生き延びられたら、二度と姦淫を犯さないと誓います。本当に愚かなことをしてしまいました。本当に申し訳ありません。生きるにしろ死ぬにしろ、どうかお許しください。」

イエスは彼女の悔い改めた心を命令によって肯定し、それは彼女への約束でもありました。罪を捨て去るという彼女の決意は、彼女にとって可能であるだけでなく、絶対に実行しなければならなかったのです。それは必ず実現しなければなりませんでした。そして、確かに実現しました。

応用：

イエスは私たちを罪に定めません。私たちの罪の罰を身代わりとなって受けてくださったので、恵み深く赦してくださいます。そして、私たちに前進するように命じてくださいます。私たちが最も避けるべきことは、いずれにせよ嫌悪する罪深い行動パターンにとらわれ続けることです。私たちは前進しなければなりません。罪深い習慣をやめるようにというイエスの命令は、私たちがそうすることができるという証拠です。

何を許して欲しいですか？そして、永遠に忘れ去らなければならないのですか？今日、それを実行しましょう！